令和３年度職員採用選考試験
情報　専門記述試験（３．６.20）

次の課題１及び課題２に解答しなさい。

＝ 課　題　１＝
○ＢＹＯＤの導入

スマートフォンやタブレットの普及により，一人複数台のデバイス（端末）を所有することが日常となっている。同時にこれらのデバイスを自身が所属する企業や団体に持ち込み（BYOD: Bring Your Own Device)，業務で利用したいというニーズも高まっている。普段から使い慣れたデバイスで業務を遂行する方が効率は良い，という声も理解ができる。その反面，これら個人デバイスを業務利用することによるセキュリティリスクが潜んでいることも事実である。

＜設問＞あなたは，情報セキュリティの担当者です。あなたが所属する組織で，BYOD を導入することにした。あなたがまず最初に行うべきことを以下から一つ選択し，なぜそれを行うべきか，あなたの考えを述べなさい。

ア　セキュリティリスクを理由に BYOD の導入を中止するよう勧告する

イ　BYOD 用のセキュリティツールのユースケースを用意する

ウ　セキュリティ研修等啓発プログラムに BYOD を追加する

エ　BYOD 用の情報セキュリティ戦略を策定し，セキュリティポリシーに反映させる

＝ 課　題 ２＝

〇デジタル技術の活用による広島県の創造

　少子高齢化，人口減少，頻発する自然災害，あるいは最近では，新型コロナウィルス等のパンデミックなど，日本は，課題先進国と言われるほど多くの課題を有している。その反面，デジタル技術の進化に目を向けると AI や 5G 等の新しいテクノロジが指数関数的に進化し，我々の日常生活の至るところでこれらのデジタル技術が使われるようになってきた。ここ数年来，これらのデジタル技術を活用したデジタルトランスフォーメーション，いわゆる DX による社会変革やイノベーションの創出が叫ばれ，様々な企業や団体で取組が進んでいる。課題先進国と言われる日本の様々な課題の解決に積極的に取り組む，あるいは DX を推進していくためには，デジタル技術の益々の活用は，必須であると言える。

＜設問＞これらの現状を鑑みて，今後のデジタル技術が社会に及ぼす影響を考察し，あなたが思い描く，あるいは創造する 10 年後の広島県の未来について述べなさい。